

2010.1.28(木)

徳島新聞

がん患者接し方紹介
医療関係者向け講習会

徳島市

がん患者の相談に答える技術などについて話す保坂教授―徳島市内のホテル千秋閣



がん患者への望ましい
かわり方を学ぶ講習会
(徳島大学がん診療連携

センター主催)が、徳島
市内のホテル千秋閣であ
り、医療関係者や患者の
家族ら約80人が耳を傾け
た。

東海大医学部の保坂隆
教授(精神医学)が講
演。患者と接する上で大
切な要素として、熱心に
話を聞く「傾聴」と「共
感」を挙げ、「患者の話
に感情を込めて相づちを
打つ」「相手の言った言
葉を繰り返すことで理解
を示す」といった傾聴の
技術を説明した。

また、がん患者の3人

のうちの1人はうつ症状
に似た精神状態にあると
いう統計を紹介。「患者
の体調だけでなく心の状
態にも気を配り、うつが
疑われたら心療内科の受
診を促して」と呼び掛け
た。

看護師の南千代さん
(50)は「阿南市羽ノ浦町」
は「習った技術を生か
し、相手の立場に立って
患者さんと接していき
たい」と話した。